



お元気ですか！
志村 たかよし です

第890号 2018年5月27日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

第4回反ヘイトスピーチ基礎講座@銀座

誰の笑顔も奪わないために



清水さんの巧みなトークに笑いながらカジュアルヘイト（日常に潜む差別）を考える

5月13日、銀座で頻発しているヘイトデモ（差別扇動デモ）をなくすための勉強会（主催：銀座N O！Hate 小店）が、銀座教文館ウエンライトホールで開催されました。

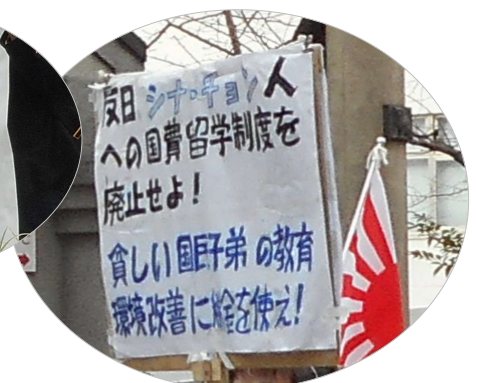
第一部では、大東文化大学准教授の渡辺雅之さんによる、図表（下）や動画などを使った「差別

先導行為とは何か」の講演があり、第二部では、俳優でスタンダップコメディアン清水宏さんの「私たちは何を笑うのかく日本の笑いの現場から」のトーク（上写真）と法政大学教授で小説家の中沢けいさんを交えた3人のパネルディスカッションがありました。



典型的なヘイトスピーチ ※法務省作成

- ▽脅迫的言動
「〇〇人は殺せ」
「〇〇人を海に投げ入れろ」
- ▽著しく侮蔑する言動
特定の国・地域の出身者について「ゴキブリ」などの昆虫、動物、物に例える。このほか、隠語や略語が用いられ、一部を伏せ字にしたりするケースもある
- ▽地域社会から排除することを扇動する言動
「〇〇人はこの町から出て行け」
「〇〇人は祖国へ帰れ」
「〇〇人は強制送還すべきだ」



銀座の水谷橋公園に集合後、プラカードと日の丸と日章旗を掲げて外堀通りをデモ行進する集団＝数寄屋橋 2016年

「中央区ヒストリー」② 武家屋敷や町家が増えて商人が活躍

振袖火事でまちの整備が進む

当時、世界一とも言われた人口の密集地、江戸は火事の多いまちでした。

明暦3年（1657年）、本妙寺（文京区）から起こった明暦の大火（俗に振袖火事）は江戸市中の60%を焼き尽くし、死者は10万7千人余

り、現在の中央区一帯は、ほとんど焼け野原となりました。

幕府は直ちに大規模な区画整理と復興事業に着手し、寛文年間（1661～1673年）までには新しい区画による江戸のまちを完成させました。

火除け地としての広小路が設けられたのも、多くの大名屋敷が城郭外

に移転したのもこの時代です。中央区では八丁堀・霊岸島が武家地、日本橋・京橋一帯は町屋となつて広がりました。

これにより商人の活躍の場が確保され、中央区が商業地として抜きん出て発展することになります。

商業の発展とともに水上輸送もさらに活況を呈し、日本橋川や京橋川、八丁堀などの運河には河岸が設けられ、その周辺に問屋街が広がっていききました。

江戸時代初期に開かれた「日本橋

中央区の沿革 ダイジェスト

- 天正18年(1590年) 徳川家康が江戸に入城
城下町の建設に着手
- 慶長8年(1603年) 徳川家康が江戸幕府を開く
日本橋、京橋架橋
- 慶長9年(1604年) 日本橋を起点とした全国の
道程を定める
- 慶長17年(1612年) 駿府からの移転により銀座が
誕生
- 元和2年(1616年) 大和屋助五郎が本小田原町
(現在の室町一丁目)に
魚市場を開く
- 正保元年(1644年) 佃島築島
- 明暦3年(1657年) 江戸大火(振袖火事)
本郷で出火し日本橋・佃島にも
延焼
- ～明治維新～
- 明治元年(1868年) 江戸を東京に改称
東京府が誕生し、日本の首都
になる
- 明治7年(1874年) 京橋・新橋間に馬車が開通
- 明治10年(1877年) 銀座れんが街が誕生
- 明治11年(1878年) 日本橋区、京橋区が誕生
兜町に株式取引所が設立
される
- 明治15年(1882年) 箱崎町に日本銀行が設立
される
- 明治22年(1889年) 木挽町(現在の銀座)に
歌舞伎座が誕生



日本橋魚市場水神祭之図（京橋図書館所蔵）

文と図は「区勢要覧」より

魚市場（魚河岸）は、鮮魚類の荷揚げや取り引きを行っており、江戸・東京の代表的市場として機能していました。

大正12年（1923年）の関東大震災で焼失し、市場が築地に移転するまで300年以上の間、日本橋のたもとで繁栄を続けました。

（つづく）